

ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法

電話機は、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンで使用できます。

目的	操作
ハンドセットを使う	オフフックにするにはハンドセットを取り上げます。オンフックにするにはハンドセットを受け台に戻します。
ヘッドセットを使う	 () を押して、ヘッドセット モードのオンとオフを切り替えます (通常、ヘッドセットはボタン 23 に割り当てられます)。ヘッドセットは、音量ボタンや  など、電話機のすべての制御で使用できます。 自動応答を使用する場合は、P.58 の「自動応答の使用」 を参照してください。 ワイドバンドをサポートするヘッドセットを使用する場合は、電話機でワイドバンド設定を有効にすると、音声の感度が向上することがあります (この設定は、デフォルトでは無効です)。この設定にアクセスするには、 > [Settings] > [User Preferences] > [Audio Preferences] > [Wideband Headset] を選択します。[Wideband Headset] 設定がグレー表示されている場合、ユーザはこの設定を制御できません。 電話機のシステムでワイドバンドを使用するように設定されていることを、システム管理者に確認してください。システムがワイドバンド対応に設定されていない場合は、ワイドバンドヘッドセットを使用してもオーディオの感度が上がったとは感じられない場合があります。ヘッドセットの詳細については、ヘッドセットのマニュアルを参照するか、システム管理者に問い合わせてください。
スピーカフォンを使う	 を押して、スピーカフォンモードのオンとオフを切り替えます。 ハンドセットが受け台にあり、 (ヘッドセット) が点灯していない場合は、番号のダイヤルまたはコールの応答で実行できる多くの操作で、スピーカフォン モードが自動的に切り替わります。

目的	操作
コール中に（ハンドセットから）スピーカフォンまたはヘッドセットに切り替える	 または  を押し、ハンドセットを置きます。
コール中に（スピーカフォンまたはヘッドセットから）ハンドセットに切り替える	ハンドセットを取り上げます（ボタンは押しません）。
コールの音量レベルを調節する	コール中またはダイヤル トーンが聞こえているときに音量ボタンを押します。 この操作によって、使用中のハンドセット、スピーカフォン、またはヘッドセットの音量が調整されます。 以降のコール用に音量レベルを保存するには、[Save] を押します。

ヘッドセットの入手

電話機には、4 線または 6 線のヘッドセット ジャックが付いています。ヘッドセットの購入については、[P.6 の「ヘッドセットについて」](#)を参照してください。

自動応答の使用

自動応答が有効になっている場合、電話機では呼出音が 2、3 回鳴った後で着信コールが自動的に応答されます。システム管理者が、スピーカフォンまたはヘッドセットを使用する自動応答を設定します。大量の着信コールを受け付ける場合、自動応答を使用すると便利です。

目的または状態	操作
ヘッドセットで自動応答を使用する	コールがない間も、ヘッドセット モードをアクティブにしたまま (● (📞) が点灯したまま) にします。 ヘッドセット モードをアクティブのままにするには、次のように操作します。 • [EndCall] を押して切断します。 • [New Call] または [Dial] を押して、新規コールを発信します。 ヘッドセット モードで自動応答を使用するように電話機が設定されている場合、● (📞) が点灯している場合にのみ、コールに自動的に応答します。その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。
スピーカフォンで自動応答を使用する	ハンドセットを受け台に置き、ヘッドセット モードを非アクティブのままにします (● (📞) が消灯)。 その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。

ヒント

自動応答は、サイレント機能がアクティブの場合は無効になります。